【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【公表番号】特表2013-507999(P2013-507999A)
【公表日】平成25年3月7日(2013.3.7)
【年通号数】公開・登録公報2013-012
【出願番号】特願2012-533699(P2012-533699)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｌ　9/14　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　9/03　(2006.01)
Ａ０１Ｍ　7/00　(2006.01)
Ａ０１Ｍ　1/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｌ　9/14
Ａ６１Ｌ　9/03
Ａ０１Ｍ　7/00　Ｓ
Ａ０１Ｍ　1/20　Ｍ
Ａ０１Ｍ　1/20　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成25年10月11日(2013.10.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１つの空気処理剤の分配装置であって、前記分配装置は、
空気処理剤の少なくとも１つの取り外し可能容器を少なくとも部分的に内部に受け入れるように適合された内部を定める１つ又はそれ以上の壁を有するハウジングを含み、前記ハウジングにおける前記装置は、
空気中の空中物質を検出するように動作可能な空中物質検出器手段を含み、前記空中物質検出器手段には、使用中、前記装置の外部からの空気が前記空中物質検出器手段に入るのを可能にするための、前記装置の外部へ通じる少なくとも１つのアパーチャが設けられ、
空気処理剤の前記少なくとも１つの容器を受け入れるための受け入れ手段と、
使用中、前記ハウジング内の１つ又はそれ以上の出口オリフィスを通って、前記装置から前記空気処理剤を発散させるように適合された発散手段と、
前記発散手段及び前記空中物質検出器手段と通信状態にある制御手段とをさらに含み、
前記空中物質検出器手段は、前記ハウジングの前記内部に存在するいずれの流体からも実質的に完全に隔離され、前記ハウジングの前記内部に存在するいずれの流体も、前記１つ又はそれ以上のハウジング壁を通過して前記空中物質検出器手段により検出可能となることが実質的に完全に防止される、
ことを特徴とする分配装置。
【請求項２】
前記空中物質検出器手段のための前記少なくとも１つのアパーチャは、前記１つ又はそれ以上の出口オリフィスから離間配置されることを特徴とする、請求項１に記載の分配装置。

【請求項３】
前記少なくとも１つのアパーチャは、前記出口オリフィスのハウジング壁と実質的に垂直なハウジング壁内に配置されることを特徴とする、請求項１又は請求項２のいずれかに記載の分配装置。
【請求項４】
前記少なくとも１つのアパーチャは、前記出口オリフィスのハウジング壁とは実質的に反対側のハウジング壁内に配置されることを特徴とする、請求項１～請求項２のいずれかに記載の分配装置。
【請求項５】
前記ハウジングには、前記ハウジングの前記内部内に延びる、その壁内の窪んだ凹部が設けられ、前記凹部は、前記空中物質検出器手段を内部に受け入れるような大きさにされることを特徴とする、請求項１～請求項４のいずれかに記載の分配装置。
【請求項６】
前記窪んだ凹部には、前記凹部を塞ぐような大きさにされ、かつ、前記ハウジング壁の形状、又は、前記ハウジング壁の輪郭、又は、前記ハウジング壁の形状及び輪郭に実質的に従うカバーが設けられ、前記カバーは少なくとも１つのアパーチャを含むことを特徴とする、請求項５に記載の分配装置。
【請求項７】
前記アパーチャには、そこを通るガスの拡散を可能にしながら、前記空中物質検出器手段の粒子汚染を防止する又は実質的に防止するためのフィルター膜が設けられることを特徴とする、請求項１～請求項６のいずれかに記載の分配装置。
【請求項８】
前記装置には、前記装置が空気処理剤を発散する直前に、前記空中物質検出器手段へ通じるアパーチャを外部環境に対して閉鎖し、かつ、発散が行われた後の一定時間閉鎖されたままであるように構成された移動可能な閉鎖手段が設けられることを特徴とする、請求項１～請求項７のいずれかに記載の分配装置。
【請求項９】
前記ハウジングには、発散された空気処理剤が前記アパーチャに入るのを防止するために、前記空中物質検出器手段と連通する前記アパーチャに隣接した外向きに延びる突起部が設けられることを特徴とする、請求項１～請求項８のいずれかに記載の分配装置。
【請求項１０】
前記空中物質検出器手段は、少なくとも１つの匂いセンサ手段を含むことを特徴とする、請求項１～請求項９のいずれかに記載の分配装置。
【請求項１１】
前記匂いセンサ手段は、１つ以上の金属酸化膜半導体センサ、及び、１つ以上の金属酸化物センサのうちの少なくとも一方を含むことを特徴とする、請求項１０に記載の分配装置。
【請求項１２】
少なくとも１つの空気処理剤の、空中物質検出器手段を有する分配装置の感度を向上させる方法であって、前記分配装置は、
空気処理剤の少なくとも１つの取り外し可能容器を少なくとも部分的に内部に受け入れるように適合された内部を定める１つ又はそれ以上の壁を有するハウジングを含み、前記ハウジングにおける前記装置は、
空気中の空中物質を検出するように動作可能な空中物質検出器手段を含み、前記空中物質検出器手段には、使用中、前記装置の外部からの空気が前記空中物質検出器手段に入るのを可能にするための、前記装置の外部へ通じる少なくとも１つのアパーチャが設けられ、
空気処理剤の前記少なくとも１つの容器を受け入れるための受け入れ手段と、
使用中、前記ハウジング内の１つ又はそれ以上の出口オリフィスを通って、前記装置から前記空気処理剤を発散させるように適合された発散手段と、

前記発散手段及び前記空中物質検出器手段と通信状態にある制御手段とをさらに含み、
前記空中物質検出器手段は、前記ハウジングの前記内部に存在するいずれの流体からも実質的に完全に隔離され、前記ハウジングの前記内部に存在するいずれの流体も、前記１つ又はそれ以上のハウジング壁を通過して前記空中物質検出器手段により検出可能となることが実質的に完全に防止され、
前記方法は、
空気処理剤の容器を前記ハウジング内に取り付け、前記受け入れ手段に係合させるステップと、
前記装置を、前記発散手段が前記空気処理剤の容器と係合して一定量の空気処理剤を前記装置から発散させる動作モードにおくステップとを含み、
発散後、前記装置内に残るいずれの空気処理剤も、前記装置内から発散されて、そこから実質的に完全に隔離された前記空中物質検出器手段に接触することができない、
ことを特徴とする方法。